

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんてんとうげいのこうりゆうねっとわーく 特定非営利活動法人伝統芸能交流ネットワーク		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	理事長 中坪眞		
制作団体所在地	〒 249-0005	最寄り駅(バス停)	逗子・葉山
	神奈川県逗子市桜山8-16-46		
電話番号	046-871-9609		
ふりがな 公演団体名	しんないぶし つるがりゆう 新内節 鶴賀流		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	鶴賀若狭椽		
公演団体所在地	〒 162-0825	最寄り駅(バス停)	飯田橋
	東京都新宿区神楽坂6-27		
制作団体 設立年月	平成16年11月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 中坪 眞 理事 青木 祐太郎 理事 佐々木 宏一 理事 塩入 博仁		
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	中坪眞
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	幾井真由美
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:info@dentougeinou.com">info@dentougeinou.com</a>		

制作団体沿革	<p>昭和43年から伝統芸能の一般公演をしたのち、昭和47年から、全国の中高生を対象に日本の伝統芸能芸術鑑賞会を開始。昭和55年小学校、子ども劇場、児童劇場、児童館などで小学生を対象にさらにその裾野を広げ、わんぱく寄席・学校寄席など伝統芸能で多く実績を残す。狂言鑑賞会では、和泉流、大蔵流諸家を中心に学校公演を行う。</p> <p>平成16年11月1日 特定非営利活動法人伝統芸能ネットワーク 内閣府にて認証</p>			
学校等における公演実績	<p>沿革欄に記入したとおり、長年にわたって、学校での公演を行ってきており、文化庁事業としては下記の実績</p> <p>平成19年度「本物の舞台芸術体験事業」  平成20年度「本物の舞台芸術体験事業」  平成21年度「本物の舞台芸術体験事業」  平成22年度「本物の舞台芸術体験事業」  平成23年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」  令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」  令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」</p> <p>第7回文化庁文化交流使 イギリス(ロンドン、ポーツマス、イーストボーン、ダブリン、ケンブリッジ、ダーラム)、アイルランド(ベルファースト、コーク)、オランダ(ユトレヒト)ベルギー(ブリュッセル)、スコットランド(エジンバラ)などで公演</p> <p>八王子市内の小中学校  福島県二本松市中学校  福島県大熊町中学校ほか</p>			
特別支援学校等における公演実績	<p>横須賀ろう学校、滋賀県草津特別支援学校</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	無		
	※公開資料有の場合URL			
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新内節 鶴賀流 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	新内節 鶴賀流		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1. 新内の解説——鶴賀若狭掾ほか</p> <p>2. 素浄瑠璃『蜘蛛の糸』 原作 : 芥川龍之介 作曲 : 鶴賀若狭掾</p> <p>3. 体験ワークショップ 『さくら さくら』新内と八王子車人形体験 人形の立まわり つけうち体験</p> <p>4. 八王子車人形の解説——西川古柳 休憩(舞台転換)</p> <p>5. 『東海道中膝栗毛』—赤坂並木の段— 原作 : 十返 舎一九 作曲 : 富士松魯中</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
	<p>重要無形文化財「新内節」と選択無形民俗文化財「八王子車人形」とを組み合わせて、『蜘蛛の糸』、『東海道中膝栗毛』という学校教育になじみ深い題材を伝統芸能として演じることにより、鑑賞を深めます。</p> <p>はじめに——登場 新内流しと八王子車人形が、客席後方扉より登場。子どもたちの席の間を流して演じながら舞台上がります。</p> <p>車人形の仕組みがちかくわかる。</p> <p>新内の解説「新内とはなんだろう」 新内について、人間国宝鶴賀若狭掾が楽器や道具などをわかりやすく解説。</p> <p>素浄瑠璃『蜘蛛の糸』</p>		

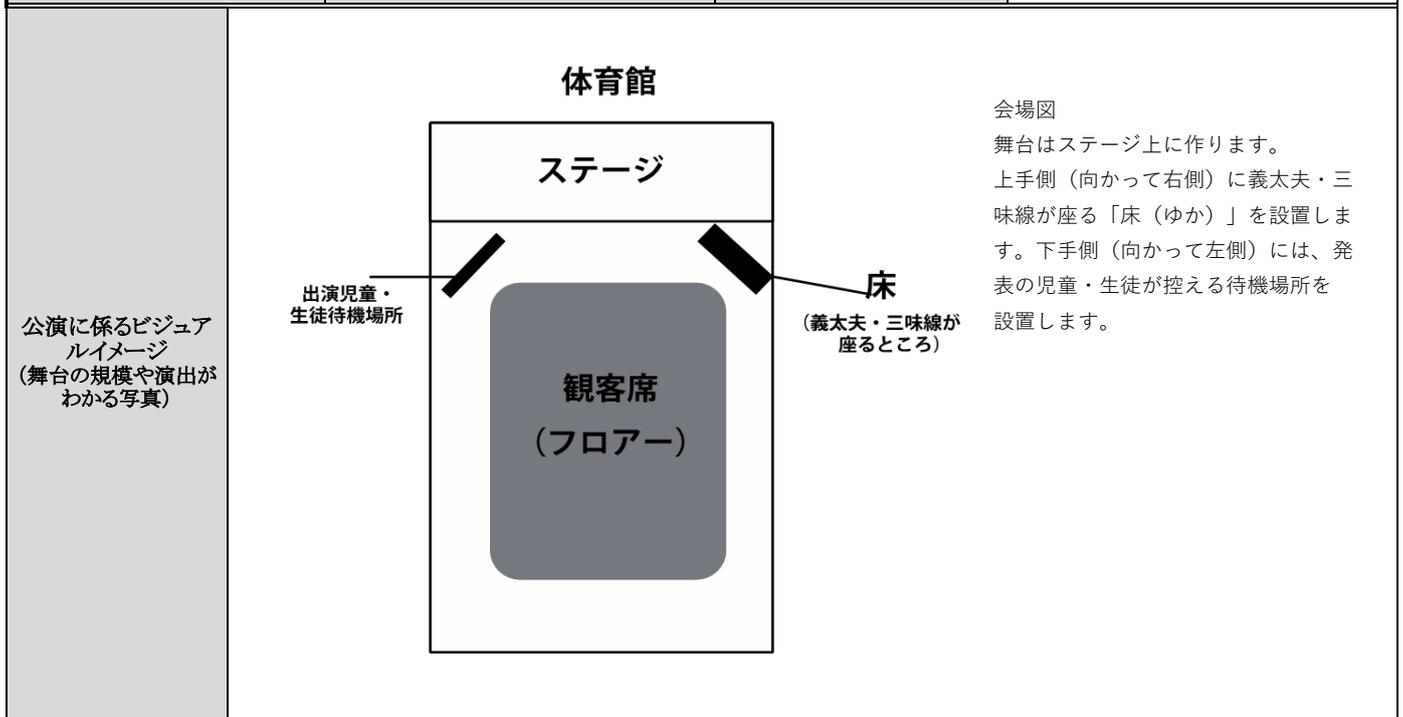
<p><b>演目概要</b></p>	<p>お釈迦様は、地獄に落ちているカンダタも生前たった一つ良いこと(踏み殺しそうだった蜘蛛を踏まなかった)をしたのを思い出し、地獄から救い出すための蜘蛛の糸を垂らす。それを上り始めたカンダタは、他の罪人も上ってくるのを見て、下りろと言った途端、蜘蛛の糸は切れてカンダタは再び地獄に落ちてしまう。</p> <p>八王子車人形の解説——西川古柳</p> <p>八王子車人形についての解説。 ろくろ車に腰掛けて一人遣いで演じる 車人形の独自の特徴や、車人形の頭(かしら)、 右手、左手、胴体、足などを分解して、 中の仕掛けをご説明します。</p> <p>東海道中膝栗毛(赤坂並木の段)</p> <p>弥次郎兵衛(弥次さん)、喜多八(喜多さん)の 両名が、江戸の日本橋を皮切りに京の都を目指して 旅に出る。 赤坂宿(現在の愛知県豊川市)で弥次さんが、 いたずらで「お化けがでる」と喜多さんを脅かすと、 喜多さんは、親爺のお使いで酒を買って帰った小僧を お化けと間違えて打ちのめしてしまう。 怒った親爺から喜多さんは逃げ出し、残された 弥次さんは親爺に首を締められ気絶してしまいます。 弥次さんが正気に戻ると、死装束を着せられており、 すっかり自分が死んだものだと思って悲しむ。</p> <p>卵塔場(お墓)で、お化けやキツネ、タヌキが出る場面には、 子どもたちもアドリブで参加。ツケや拍子木などの効果音も子どもたちが担当。 江戸っ子を彷彿とさせる新内の語りは、弥次喜多の会話を表現するのに最適です。 また、新内の語り口調と八王子車人形の息がぴったりと会い、まるで人形が生きて いるかのように見えてきます。</p>
<p><b>演目選択理由</b></p>	<p>新内節は、「重要無形文化財」として国の指定を受けています。 その「粹」で歯切れのよい浄瑠璃は、現在も多くの愛好家によって支え られております。 八王子車人形も国指定「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選定される貴重な無形文化財です。</p> <p>子どもたちになじみのある『蜘蛛の糸』『東海道中膝栗毛』という 演目を、新内節と八王子車人形の組み合わせで演じることにより、 大人でも触れることの少ない我が国の伝統芸能への扉を開けることが できます。</p> <p>『蜘蛛の糸』は国語や道徳の学習にも取り入れられていますが、 感情をこめた実演を鑑賞・体験することで、 より文学的価値や道徳的な意味を理解することができます。 一方、滑稽で楽しめる『東海道中膝栗毛』で締めくくるとにより、 子どもたちの心の中に我が国の伝統芸能の良き種を残すことができます。</p>
<p><b>児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの席の間を流して歩き、街中での新内流しの場面を再現することにより、演者と鑑賞者との交流を図ります。実際に三味線の生の音と、新内の美声、そして八王子車人形を目の前にすることができます。</li> <li>事前ワークショップで『さくらさくら』では、児童生徒が新内の語り、三味線、車人形を事前ワークショップ遣って踊り、人間国宝と直に触れあうことは貴重な経験となるでしょう。</li> <li>『東海道中膝栗毛』では、子どもたちの参加もあり、出演者たちとの競演し、創造性を発揮する機会となります。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>出演者</b></p>	<p>【新内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11代目鶴賀若狭掾(重要無形文化財保持者一人間国宝)</li> <li>・鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢春、鶴賀伊勢幸ほか</li> </ul> <p>【車人形】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西川古柳、西川柳時、西川柳車、西川柳玉、西川柳起、西川柳桂ほか</li> </ul>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む</p>	<p style="text-align: right;">出演者: 10 名</p> <p style="text-align: right;">スタッフ: 4 名</p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">合 計: 14 名</p>	<p><b>運搬</b></p>	<p>積載量: 2 t</p> <p>車 長: m</p> <p>台 数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30-11:00	13:30-15:30	10	15:30-17:00	17時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
			21日	19日		
	11月	12月	1月	計	71日	
		15日	16日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10名前後
		鑑賞人数目安	全校生徒



## 【公演団体名 新内節 鶴賀流 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	10名前後
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>事前ワークショップでは、 新内の語り、三味線、八王子車人形を遣うなど、 それぞれ役割を決めて練習。 本番で披露します。</p> <p>A-サクラサクラを踊る 人形3名 三味線 3～4名 語り3～4名 曲に合わせ3名の児童生徒が車人形で踊ります。 ※人数は、変更の可能性があります。</p> <p>B-立ち回り(チャンバラ) 人形2名 2名の児童生徒が車に腰を掛け演じます。</p> <p>C-鳴物-つけ打ち、太鼓、鉦 2名 立ち回りに合わせて打ち鳴らします。</p> <p>『東海道中膝栗毛』のお墓の場面に、 お化けや動物人形を動かす役、 つけ打ちなどの効果音係を演じる役で 舞台に参加します。</p>		
ワークショップの ねらい	<p>子どもたちが実際の楽器にふれることで、 「こんなに糸がのびるなんてしらなかった」 「3本しか線がないのにいろんな音がでるのに驚いた」 「楽器で物語ができるのに驚いた」ということがわかります。</p> <p>また、実際に車人形を動かすことで、 表現力を高める</p> <p>日本の伝統芸能は難しいとか敷居が高いなどのイメージがありますが、 実演に参加することにより、新内節に親しみ、 ひいては江戸情緒たっぷりの伝統芸能を身近に感じることができるようになります。 声は、誰もが持っている楽器です。新内の発声や歯切れのよいセリフ語りを 体験することで、自分の声の再発見をすることができます。</p> <p>また、日本独特の発声方法を学ぶことにより、 我々の日常生活にあふれている西洋音楽との違いを認識することもできます。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等			

本事業への申請理由

【公演団体名

新内節 鶴賀流

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

生の音を身近で聴くことの意味

最近、メディアの発達により、いろんな音楽を主張している音楽が増えていますが、実際の生の音というのは、人間の感性をデジタルで

生演奏を聴くことが少ない時代です。

特に、多くの子どもたちにとって、生で邦楽に触れる機会は皆無と言ってもよいくらいです。だからこそ、生の唄声を聞いて、日本の情緒、風情を体で感じ、楽しんでもらいたいと思っています。

今後は日本と言う国が、国力をつけるにしがたって、日本人の伝統文化というのは、世界に発信する大きな手段となるでしょう。

八王子車人形の次担い手を増やすため。

日本の伝統文化を子どもたちに伝えたい

日本の伝統芸能は一般的に「ムズカシイ」というイメージがあります。

特に「子どもには理解できない」と決めつける大人が多いのが現状です。

では、実際に「新内」を聞いた子ども達はどうか。

「とても綺麗な声」

「語り口調がかっこいい」

「人形と一体になっている」

「生きているようだ」

「(三味線の音が)とても綺麗な音色だ」

「どうすればあんな音が出るのかやって見たい」

など新内の見所、聞き所を直感的に捉え、

新内の歌声や三味線の音色を新鮮にとらえています。

子どもたちは本物の芸術を聞き分ける耳を持っています。

新内や八王子を通して、邦楽、伝統芸能全般に興味を持っていただき、

将来の文化発展のために、感受性の高い子どものうちから、

担い手を育てたいと思っています。

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

事前に先生方に、新内及び八王子車人形について連続写真で流れがわかるような説明資料

や、新内の語りを録音したDVDなどの音源をお送りします。これらの資料により、先生方にイ

メージを把握していただき、子ども達が興味を持つようにお伝えいただきたいと考えております。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫